

京都産業大学同窓会 宮崎県支部便り

2017(平成29)年
第10号

むすぶ
学生像

発行日 2017年1月1日
発行 京都産業大学 同窓会宮崎県支部
E-mail ksu383ki@yahoo.co.jp



ごあいさつ

宮崎県支部 支部長 佐藤 知徳

あけましておめでとうございます。

支部便り創刊から10年になります。同窓会活動へのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

去年は、イギリスのEU(欧州連合)離脱決定。アメリカでは、次期第45代大統領にドナルド・トランプ氏決定と、まさに予測のできないことが起こってしまう時代を迎えています。

4月には熊本地震が発生しました。大きな地震が2度も。宮崎でも揺れました。

明るい話題としては、広島東洋カープの25年ぶりのリーグ優勝があるでしょう。去年の流行語大賞は、緒方監督による「神ってる」。昨年積み重ねた勝ち星は89で、球団創立以来最多。そのうち45勝は逆転勝ちによるもので、実に半分以上の割合で逆転による勝利をつかんでいます。

カープは、50年以上も、日南市で春と秋にキャンプを行っています。昨季のもう一つの話は、日本人で初めて、日米通算で200勝を果たした黒田博樹投手の引退でしょう。メジャーの高額オファーを蹴って古巣カープに復帰。カープファンだけでなく、多くの野球ファンから尊敬を集める、まさに球界のレジェンドです。

その黒田投手と捕手として長年コンビを組んだのが、我が京都産業大学出身の倉義

和選手です。倉選手は平成9年ドラフト5位でカープ入団。黒田投手は倉選手を「ピッチャーが投げやすいように、すべての心配りができるキャッチャーだった」と称賛。黒田投手と9年ぶりにバッテリーを組んだ引退試合では打者一人限定の先発出場。結果はストレートの四球で、少し残念でしたが、長年本学の卒業生を楽しませてくれました。倉選手、本当にお疲れ様でした。宮崎県支部としての直接的な応援はなかなかできませんでしたが、倉選手の今後のご活躍を期待しています。

今後は、倉選手の分まで、オリックス・バファローズの平野佳寿(よしひさ)投手が活躍してくれるでしょう。オリックスの優勝と宮崎でのパレードを楽しみにしたいと思います。

本年がみなさんにとって、希望に満ちた良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



倉義和捕手

平野投手を応援しよう

オリックス・バファローズの宮崎キャンプは今年で3年目になります。



昨年の宮崎キャンプで

平野佳寿投手は、本学卒業後、平成17年ドラフト希望枠で入団。

キャンプ地は宮崎市清武町の宮崎市清武総合運動公園・SOKKEN スタジアム。キャンプ

で平野投手を応援しましょう。

平野投手のここ3年の主な成績は次のとおり。昨季の防御率1.92、素晴らしいですね。

暖かい宮崎で、最速156/hのストレートやフォークボールにさらにみがきをかけ、ますますの活躍を。

	セーブ	投球回	防御率
平成26	40	60	3.43
27	12	31	4.06
28	31	61	1.92

「七人の侍」って知ってます？

俳優の志村喬さん（延岡中学校（現延岡高校）出身）率いる三船敏郎さんなど七人の浪人が躍動する、黒澤明監督の映画「七人の侍」のことではありません。

昨年12月のノーベル賞授賞式には、医学生理学賞の大隅良典・東京工業大栄誉教授が加わる、生物学の研究グループ「七人の侍」のうち、京都産業大学から永田和宏教授と、吉田賢右シニアリサーチフェローのお二人も出席されました。七人は生物学の第一人者で、平成23年年3月、京都市

で開かれた行事で集まったことをきっかけにグループを結成されたとのことです。

歌人で有名な永田教授は、平成10年に若山牧水賞を受賞され、ご夫妻で宮崎に来られています。

永田・吉田両先生のますますのご活躍を期待しております。



左から永田・吉田先生

会員短信

ホームカミングデーに参加して

野別^{ともりのり} 知孝(昭和55年法学部卒)

昨年11月5日（土）に、神山祭ホームカミングデーに行ってきました。

私にとっては、卒業以来実に37年振りの母校訪問でしたが、新しい建物が敷地（随分拡張されたと感じましたが）一杯に建ち並ぶ様には、「懐かしさ」を感じるよりむしろ、別の場所に迷い込んだような思いになり、浦島太郎になった気分でした。

卒業後初めての母校訪問でしたので、午前9時頃にはキャンパスに入り、隅から隅まで歩いて回ってみましたが、私が在学していたころの面影は一新されており、校舎等の建物の数も、あの頃の3倍程に増えているのではないかと思います。（もっとも、私の学生時代は2回生から4回生までアルバイトに精を出していましたので、卒業に必須の体育と第2外語以外は授業にもあまり出ておらず、したがって校舎の配置などはほとんど記憶していませんが・・・。）

特に、目を見張ったのは総合体育館、神山ホール、神山天文台などなどで、これら



宮崎県花 はまゆうを植樹

すべてを見て回りましたが、どれも素晴らしい施設で圧倒されました。それと、高低差の大きい所4か所にエス

カレーターが設置されており、あの頃こういう整備がしてあれば、もっとまじめに大学にも通ったのになあと、つくづく思ったことでした。

さて、今回の母校訪問のメインイベントとして、素晴らしい秋晴れの午後2時から、15号館（総合生命科学部棟）裏の緑地帯において、同窓会4支部（奈良県支部、富山県支部、鳥取県支部、宮崎県支部）による記念植樹が行われました。

宮崎県支部の記念植樹は最後に行われ、黒木宣博さんから記念樹木「はまゆう」の紹介が行われたのち、大学と同窓会の発展を祈念して、大城学長、岩井同窓会長とともに植樹しました。

記念植樹は私にとっていい体験になりましたが、残念だったのは、他の3支部からは10人以上（多いところは20人以上）のOBが駆けつけ見守る中での植樹でしたが、我が宮崎県支部からは田中茂樹さんを含めて3人しか参加できなかったことです。

植樹後の大城学長のご挨拶で印象に残ったのが、来年4月に9番目の学部として現代社会学部を開設することと、近い将来には10番目の学部として獣医学部を開設したいという構想を語られたことです。

なお、大学のホームページの情報によると、新設の現代社会学部に、元TBSキャスターの吉川美代子さんが客員教授として、読売テレビ「ズームイン朝」などの報道番組でアナウンサーとして活躍するかたわら、南カリフォルニア大学大学院、大阪大学大学院を修了された脇浜紀子さんが教授として就任される予定とのことです。

最後に、少子化が急速に進展する中、大学間の生き残りをかけた競争はますます激化するものと思いますが、我が母校の限らない発展を祈念します。